

微生物を用いる変異原性試験（エームス試験）結果について

下記のように、胡麻若葉については、陰性と判定されています。

(成績書NO:13552)

1. 被験物質

名称 : 胡麻若葉粉末 (鹿児島、熊本産) Lot No. : 250316
常温における性状 : 粉末状 (200 メッシュ品)、薄黄緑粉末
取り扱い上の注意 : 高温・多湿・直射日光を避けた

2. 結果の判定

本被験物質は、下記5. 試験条件下で 陰性 と判定した。

3. 試験委託者

名称 : 株式会社わだまんサイエンス
所在地 : 京都府京都市中京区烏丸御池上ル二条殿町546

4. 試験受託者

名称 : 株式会社ティーティーシー
所在地 : 東京都渋谷区恵比寿西1-20-2 西武信用金庫恵比寿ビル
試験担当者 : 白井 千尋

5. 試験条件

使用菌株 : (ネズミチフス菌) TA100、TA1535、TA98、TA1537 (大腸菌) WP2*uvrA*
試験方法 : S9 (±)、プレインキュベーション法 (37℃、20 分)
培養時間 : 48 時間
使用媒体 : 蒸留水
用量 : 最高用量5,000 μ g/plate (懸濁)、公比4、7 用量、各2 プレート

6. 試験実施日

試験期間 : 2013 年5 月8 日~2013 年5 月10 日

7. 結果と考察及び参考事項

ネズミチフス菌 TA100、TA1535、TA98、TA1537 及び大腸菌 WP2*uvrA* を使用して、胡麻若葉粉末の突然変異誘発能の有無を検索した。その結果、代謝活性化の有無によらず、いずれの菌株においても溶媒対照と比較して2 倍以上の復帰変異コロニー数の増加は認められなかった。

なお、陽性対照はそれぞれの菌株に対して溶媒対照の2 倍以上に復帰変異コロニーを出現させ、試験が適切に実施されたことを示した。

従って、胡麻若葉粉末は本試験条件下において突然変異誘発能を有しないと判定した。

本被験物質の菌に対する生育阻害は認められなかった。

S9 (±) の 78 μ g/plate 以上では、被験物質の沈殿 (白色) が認められた。